

大和市指定重要有形民俗文化財

「福田の廻り地蔵および講中道具」新指定記念展示

お地蔵様にこめられた

子育ての願い

- ◆ 大和市初の重要有形民俗文化財「福田の廻り地蔵および講中道具」を紹介する展示
- ◆ 福田地域で二百数十年にわたって受け継がれた貴重な「廻り地蔵」行事の様子も紹介



木造地蔵菩薩半跏像（大和市教育委員会蔵）

**観覧
無料**

展示① 大和市文化創造拠点シリウス 5階図書館地域資料コーナー
平成30年2月1日(木)～2月25日(日)

展示② 大和市つる舞の里歴史資料館
平成30年2月27日(火)～3月4日(日)

展示③ 大和市渋谷学習センターギャラリー
平成30年3月8日(木)～3月12日(月)

主催：大和市教育委員会
(お問い合わせ)
大和市役所 文化振興課
046-260-5225

お地蔵様にこめられた子育ての願い

廻り地蔵は、大和市福田の新道下及び外記明の地蔵講で寛政3年（1791）からおこなわれていた民間信仰行事です。本尊である木造地蔵菩薩半跏像は厨子に収納されて講中各家を廻るため、ヤドナシ地蔵とも呼ばれます。子育てのお地蔵様として崇められ、子どものいる家庭では1ヶ月近くお地蔵様を留めることもありました。毎年10月4日の縁日には念仏を唱えながら10メートル近い大数珠を廻す百万遍の数珠繰りを、女性が中心となっておこないました。

平成27年に講が解散した後、お地蔵様と道具一式が市に寄贈されましたが、庶民信仰が盛んになる江戸時代以降に相模・武蔵両国で隆盛をみせた廻り地蔵という行事が市内でも独自に継承されてきたことがわかり、市域の習俗を後世に伝えるものとして重要であることから、平成29年9月28日に大和市指定重要有形民俗文化財に指定されました。

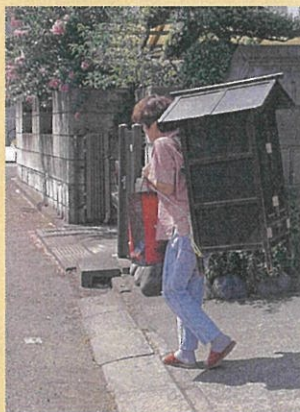
この展示では、13年ぶりの指定であり、大和市初の有形民俗文化財でもある「福田の廻り地蔵および講中道具」を、行事がおこなわれていたころの様子とともに紹介します。お地蔵様とともに二百数十年にわたって受け継がれた、子育ての願いを感じ取っていただければと思います。



木造地蔵菩薩半跏像
像高23.8cm



厨子内に納められた様子
厨子の高さ104.0cm



次の家に送られるお地蔵様



廻り地蔵の念仏（百万遍の数珠繰り）



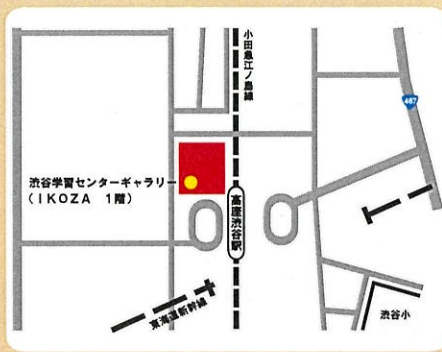
- 【区分】大和市指定重要有形民俗文化財 【記号番号】民有1
 【名称】「福田の廻り地蔵および講中道具」 【指定年月日】平成29年9月28日
 【数量】一式（内訳は下記のとおり）
 ・木造地蔵菩薩半跏像（廻り地蔵） ・厨子内木札1 ・厨子内木札2 ・伏鉦（※）
 ・大数珠 ・厨子 ・その他道具・記帳類
 ※印は個人蔵（ほかは大和市教育委員会蔵）

【文化創造拠点シリウス案内図】



小田急江ノ島線・相鉄本線
大和駅 徒歩3分

【渋谷学習センター案内図】



小田急江ノ島線
高座渋谷駅 徒歩2分

【つる舞の里歴史資料館案内図】



東急田園都市線
つきみ野駅 徒歩7分